

令和 2年度

事務事業評価表 (令和元年度 の実績評価)

記入年月日
令和 2 年 4 月 30 日

事務事業名		市立病院事業			事業区分		担当	
					新規/継続	継続	事務事業No.	010301001023
					単独/補助	単独	所属課	040401
政策体系		政策体系上の位置付け					健康推進課	
総合計画の施策名		O103 地域医療体制の充実					課長名	
政策名		O1 子どもから高齢者まで健康で共生のまちづくり					グループ	
施策名		O3 地域医療体制の充実					担当者名	
手段名		O1 ①市立病院の整備					管理	
		財務会計上の位置付け			事業期間			
予算科目		会計	款	項	目	事業	細	
								単年度繰返し (平成30年度~)
		期間限定の場合、総投入量を(3)投入量の右側に記入						
法令根拠 桜川市病院事業の設置等に関する条例、さくらがわ地域医療センター管理規則、桜川市病院事業運営評価委員会設置条例								

(Do) 1. 事務事業の現状把握 (その1)

(1) 事務事業の概要	
①事務事業の概要 (事務事業の全体像)	②担当者が行う業務の内容・やり方・手順
<p>筑西市民病院及び県西総合病院に山王病院を加えた3病院の再編統合により、筑西市民病院と県西総合病院の医療機能を集約した茨城県西部メディカルセンターを筑西市が整備を行い、桜川市は医療機能の低下に対応するため、市立病院としてさくらがわ地域医療センターを整備し、病院の運営については医療法人隆仁会の医療資源を活用した指定管理者制度を導入して、平成30年10月1日に両病院とも開院した。</p> <p>病院事業は、財務に関し公営企業法の適用となることから、公営企業法に基づき特別会計を設置し、桜川市病院事業会計により事業を行う。なお病院の運営は指定管理者が管理・運営を行っているため、病院事業会計の収益がないことから、一般会計からの負担金を収入とし事業を運営する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 市立病院事業に関する、医療法に関連した市立病院の事業に関する業務や医療機器の調達に関する医療・情報機器等に関する業務を行う。 病院事業会計に関する、財務会計に関する業務、企業債に関する業務、国庫補助事業等関係業務を行う。 指定管理に関する、協定や交付金に関する指定管理者業務に関する業務及び、運営評価委員会に関する業務を行う。 市立病院の連携等に関する業務としては、医療機関や医師会との連絡調整を行う。

(2) 事務事業の手段・対象・意図と各指標、指標値の推移

①手段 (担当者の活動内容)	④活動指標 (活動量を表す指標)	単位	30年度	01年度	02年度	03年度	04年度
			(実績)	(実績)	(計画)	(目標)	(目標)
<ul style="list-style-type: none"> 指定管理者及び関係機関との連絡調整や協議。 桜川市病院事業の運営に関する点検及び評価、協議を行うため病院事業運営評価委員会を開催する。 	関係者との協議回数	回	12.00	24.00	24.00	24.00	24.00
	病院事業運営評価委員会	回	1.00	1.00	3.00	1.00	0.00
				0.00	0.00	0.00	0.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
②対象 (誰、何を対象にしているのか)	⑤対象指標 (対象の大きさを表す指標)	単位	30年度	01年度	02年度	03年度	04年度
			(実績)	(実績)	(計画)	(目標)	(目標)
市民	桜川市人口	人	40,483.00	39,692.00	39,571.00	38,957.00	38,343.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
③意図 (この事業によって対象をどう変えるのか)	⑥成果指標 (対象における意図の達成度を表す指標)	単位	30年度	01年度	02年度	03年度	04年度
			(実績)	(実績)	(計画)	(目標)	(目標)
さくらがわ地域医療センターで適切な医療が受けられる。	地域で適切な医療が受けられると思う市民の割合	%	44.50	52.20	53.00	54.00	55.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00

(3) 投入量 (事業費) の推移

投入量	事業費	財源内訳	単位	30年度	01年度	02年度	期間限定総投入量
				(実績)	(実績)	(計画)	
		国庫支出金	千円	104,544	2,750	0	0
		県支出金	千円	0	0	0	0
		地方債	千円	1,832,400	68,100	58,300	0
		使用料・手数料	千円	2,782	8,398	10,000	0
		その他	千円	0	0	0	0
		一般財源	千円	910,707	529,632	750,191	0
		事業費計(A)	千円	2,850,433	608,880	818,491	0
		正規職員従事人数	人	2.00人	2.00人	2.00人	

事業費の内訳	01年度事業費 実績 (千円)			02年度事業費 予算 (千円)			
	科目	金額	科目	金額	科目	金額	
01 報酬	24	23 償還金利子及び割引料	26,635	01 報酬	96	23 償還金利子及び割引料	204,218
08 報償費	12	25 積立金	350,637	08 報償費	48	25 積立金	364,276
09 旅費	5	27 公課費	12,035	09 旅費	58	27 公課費	25,200
11 需用費	91			11 需用費	87	29 予備費	3,000
12 役務費	184			12 役務費	194		
13 委託料	144,056			13 委託料	151,142		
14 使用料及び賃借料	1,046			14 使用料及び賃借料	1,056		
15 工事請負費	2,750			15 工事請負費	1		
17 公有財産購入費	70,948			17 公有財産購入費	58,364		
19 負担金補助及び交付金	457	合計	608,880	19 負担金補助及び交付金	10,751	合計	818,491

事務事業名	市立病院事業	事務事業No.	10301001023	所属課	健康推進課
(4) この事務事業を開始したきっかけは、いつ頃どんな経緯で開始されたのか？ 開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか？					
平成29年6月に医療法に基づく病院開設の許可により、病院事業は公営企業法の一部適用を受けるため、病院事業会計を設置し病院事業が開始された。また平成30年10月1日に、さくらがわ地域医療センターが指定管理者制度を導入し開院した。					
(5) この事務事業に対して関係者（住民、議会、事業対象者、利害関係者）からどんな意見や要望が寄せられているか？					
市民アンケートの「地域で適切な医療が受けられているか」で「そう思う」・「ややそう思う」の回答割合が平成30年度に比べて7.6%増加している。また、令和元年度桜川市病院事業運営評価委員会を8月に実施し、指定管理者の運営状況について評価を行った結果、概ね適正に運営されていると評価されている。					

【See】 2. 評価の部 *原則は事前評価。

評価項目	
改革改善を行う	①政策体系との整合性 (この事務事業の目的は市の政策体系に結びつくか？意図することが結果に結びついているか？)
	<input checked="" type="checkbox"/> 結びついている 第2次総合計画の施策である、医療体制の充実を図るための手段として整備された病院である。
	②公共関与の妥当性 (なぜこの事業を市が行わなければならないのか？税金を投入して、達成する目的か？) (法定受託事業はその名称)
	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である さくらがわ地域医療センターは地域において提供される必要な医療や、採算性等の面から民間医療機関による提供が困難な政策的医療等を提供する医療機関であるため、公共関与は妥当である。
有効性	③成果の向上余地 (成果を向上させる余地はあるか？成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか？何が原因で成果向上が期待できないのか？)
	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある 西部メディカルセンターとの医療連携や、地域の医療機関と医療連携をはかることにより成果向上の余地がある。
	④廃止・休止の成果への影響 (事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は？)
	<input checked="" type="checkbox"/> 影響有 病院事業を廃止すると、市内の医療機能が低下し地域で安心して医療が受けられなくなるため、廃止することはできない。
効率性	⑤類似事業との統廃合・連携の可能性 (類似事業や統廃合の可能性がありますか？(市以外の取り組みも含む)) (他に手段がある場合) <input checked="" type="checkbox"/> 具体的な手段、事務事業名 茨城県西部メディカルセンター
	<input checked="" type="checkbox"/> 連携ができる さくらがわ地域医療センターは、茨城県西部メディカルセンターの後方支援病院の役割を担い、回復・維持期を中心に医療提供を行う。また地域の医療機関と連携し市民に身近な医療提供を行う。
	⑥事業費・人件費の削減余地 (成果を下げずに事業費を削減できないか？やり方を工夫して延べ業務事業を削減できないか？)
	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない さくらがわ地域医療センターの運営は指定管理者が行っており、市は運営費として協定書に基づく指定管理料の負担である。また不採算部門である訪問看護事業についても、赤字部分のみの補助であることから、これ以上の削減余地はない。
公平性	⑦受益機会・費用負担の適正化余地 (事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっているか？)
	<input checked="" type="checkbox"/> 公正・公平である さくらがわ地域医療センターは、地域医療体制の充実を図るために整備・運営されているため、公平・公正である。

【Plan】 3. 評価結果の総括と今後の方向性 (次年度計画と予算への反映)

(1) 1次評価者としての評価結果		(2) 全体総括(振り返り、反省点)																						
①目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ②有効性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり ③効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ④公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	⇒	病院事業は財務に関し公営企業法の適用により、公営企業法に基づき特別会計を設置し、一般会計からの負担金を収入とし桜川市病院事業会計により事業を行う。令和元年度の実績としては、1日当たりの入院患者目標数の99.9人に対し94.7人、外来患者数目標数264.0人に対し249.5人(1月末現在)と、概ね目標値を達成している。																						
(3) 今後の事業の方向性		(4) 改革・改善による期待成果 (終了・廃止・休止の場合は記入不要)																						
<input type="checkbox"/> 終了 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 改革改善を行う <input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止		(複数回答可) <input type="checkbox"/> 目的の再設定 <input type="checkbox"/> 効率性の改善 <input checked="" type="checkbox"/> 有効性の改善 <input type="checkbox"/> 公平性の改善 <input type="checkbox"/> 統廃合ができる <input checked="" type="checkbox"/> 連携ができる																						
(5) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策		<table border="1" style="width: 100%;"> <thead> <tr> <th colspan="2" rowspan="2"></th> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td style="text-align: center;">○</td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td style="text-align: center;">X</td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td style="text-align: center;">X</td> </tr> </tbody> </table>				コスト			削減	維持	増加	成果	向上		○		維持			X	低下			X
		コスト																						
		削減	維持	増加																				
成果	向上		○																					
	維持			X																				
	低下			X																				
さくらがわ地域医療センターでは、茨城県西部メディカルセンターの後方支援病院の役割を担うことから、両病院間での患者の紹介逆紹介等の連携を図ることで、成果向上の余地がある。なお、両病院間の連携については、奇数月に管理者会議を開催し連携を図っている。		(6) 事務事業優先度評価結果																						
		成果優先度評価結果 ②																						

【Check】 4. 確認及び改革改善に向けての指摘事項

(1) 課長評価	(2) 部長確認及び評価 (課長評価により、C、D判定及び確認が必要な場合)
課長確認後の評価 <input checked="" type="checkbox"/> B A: 継続(現状維持) C: 終了、廃止、休止 B: 継続(改革改善を行う) D: 2次評価へ提出	確認欄 <input type="checkbox"/>